



記念品(タンブラー)

記念品(学校車)



感謝状授与



一般式典

皆大に、民がタま長りニし後典に
い様期いよ西館午行ンたらや返ンた…午
ま成る崎に後わブ、が生りグ。一前創立
た当、リイ年祝時まし本会盛工青て四れ
に並上サ会賀かし。あびがいや会ら
りにりで西がは、が関ま、川開、
と係し会青催西う者た場年さ川
の。は会れ公



普天間加奈会長

生徒式典



西崎エイサー



西川エイサー



トントンモーカース

威風堂々



西崎中学校
校長 宮城 義隆

校長の独り言⑩

「お祭り」から「修行」へ(涙)

今年のNAHAマラソンに久しぶりに出場した。過去にも数回完走したことがあるが、実は黒歴史もある。申込みはしたもの練習をさぼり、それと言い訳に出場辞退をしたことがあるのだ。

今回は2学期の始業式に全校生徒の前でNAHAマラソン完走を宣言することで、後に引けない状況をつくり出し、出場にこぎつけた。

そしてマラソン当日。2万6千名余のジョガーが一斉にスタート。午前中は涼しく、沿道の声援にも両手を振りながら満面の笑みで答え、気持ちよく快調に歩を進めた。7km地点では恒例のYMCAダンスタイム。周りのジョガーと一緒に踊り、「お祭り」気分が最高潮に達した。だが、平和記念公園の中間地点を過ぎた辺りから、徐々にペースが落ち始め、30km地点を通過。そして苦しさが増す西中校区は生徒や保護者の声援に背中を押され、どうにか通過することができた。そして、体力の限界を感じながら迎えた35km地点。この辺りから本当の「修行」が始まる。走ってもきつい。歩いてもきつい。周りの声援を素直に受け入れられず、「いいよな走らん人は…」や「なんで俺はお金を支払って、こんなに難儀なことをしているんだろう」など、ネガティブマインドが心の中を吹き荒れる。普段は見えない弱い心が露呈するのだ。そして、迎えたゴール。その瞬間、景色が変わる。頑張った自分自身や支えてくれたボランティア、応援してくれた方々への感謝の気持ちが自然と沸き上がるのだ。「お祭り」を楽しみ、「修行」で心身の限界を体験し、その先で得られる「感動」「感謝」。これこそがこのマラソンの最大の魅力ではないだろうか…

十二月六日(土)に開催された島尻地区新人バドミントン大会(団体の部)において、女子バドミントン部が三位入賞を果たしました。メンバーは宇良結衣美さん、新本結心さん、玉城莉々佳さん、関口花音さん、友利夏菜さん、北林梨央さん、玉城芽南さんです。これから他競技の大会も続いていくと思いますが、勢いがついたいと思います。バトミントンでどうござります!



勢いをつける二位入賞! ～島尻地区新人バドミントン大会～

職員もがんばって完走! ～NAHAマラソン～

十二月七日(日)に開催されたNAHAマラソンに出席した渡嘉敷未来先生と宮城義隆校長が見事、完走しました。沿道で応援してくれた、生徒の皆さん、保護者の皆さん、本当にありがとうございました!



すべての生徒・職員が安心・充実・挑戦している学校をめざして